事業系食品ロス削減実証事業の実施について

1 概要

- ・ 事業系食品ロスの削減に向けて、県内の食品小売業者に食品ロス削減プログラムに取り組んでもらい、食品ロスの削減効果と、経費節減等の経営改善効果を検証する実証事業を実施します。
- ・ 実証事業により得られた成果は同業者へ横展開を行い、県内の事業系食品 ロス削減機運の醸成を図ります。

2 実証事業協力事業者

(株)福田屋百貨店(本社所在地:宇都宮市戸祭元町2-8)

※ 実証事業は「福田屋ショッピングプラザ宇都宮店(宇都宮市今泉町237)」 で実施

3 実証事業の詳細

- (1) 実証事業協力事業者の食品管理に係る現状(食品ロスの発生場面や発生量等)を把握し、課題を分析
- (2) 実証事業協力事業者の抱える課題に応じて、効果が見込まれる対策を協議した上で取組可能な対策を「食品ロス削減プログラム」として策定・実施 ※ プログラムの内容は項番5参照
- (3) プログラム実施による食品ロス削減効果や経営改善効果を検証し、同業他社に成果を横展開

4 実施スケジュール

期間	実施内容
R5. 7~10	「食品ロス削減プログラム」の実施
R5.11~12	中小企業診断士による効果分析
R6.1 以降	実証事業成果の同業他社への横展開

5 食品ロス削減プログラムの内容

在庫管理の自動化専用マットによる



マットの上に食材を置くと重量を感知 し、あらかじめ指定した量を下回った時 に通知する。

※バックヤードの在庫管理で利用

- ⇒・誤発注によるロス防止
 - ・人的コスト削減(業務効率化)

温度管理の自動化専用センサーによる



冷凍冷蔵庫に専用センサーを取付け、庫内の温度管理記録を自動化する。開け放しや故障時にはアラート通知を行う。

※売場の冷蔵ショーケースで利用

- ⇒・温度管理ミス等によるロス防止
 - ・人的コスト削減(業務効率化)

仕入・品出しの最適化需要予測システムによる



気象情報と全国のスーパー等のPOS 情報を集約したビッグデータを組み合 わせた分析により商品毎の需要予測を 行う。 ※主に惣菜管理で利用

- ⇒・適正量の仕入・品出しでロス防止
 - ・仕入・品出し業務の属人化防止

さまえど!



POPやポスターを掲示して、売場に陳 列された商品を手前からとる「てまえど り」を啓発する。

⇒・期限切れによるロスを防止

事業系食品ロス削減実証事業の実施について

<参考: てまえどり啓発物>

【啓発ポスター】

すぐにたべるなら、 手前をえらぶ。 「てまえどり」 にご協力ください。 みんなで減らそう 食品ロス みんなで減らそう 食品ロス なんなで減らそう (18 ロス ではら) なんなで減らそう 食品ロス (18 のようばら) なんなで減らそう (18 のまた) なんとうずっと (18 のまた) なんとう (18 のまた) なんな (18 のまた) なんとう (18

【アテンションPOP】

